

海を守ろう！ ～神奈川県民の意識を変革せよ～ プロジェクト

一般社団法人SAVE OUR BEAUTIFUL OCEAN



神奈川ならではのネットワークを活かして、海洋ごみ問題を考える！
海岸で、都市部で、多様な取り組みを実施！

神奈川県は全国の中でも飲食店の多い地域。その飲食店をネットワーク化し清掃活動を起点として、海洋ごみ問題を考えるきっかけを創出。また、FMヨコハマと湘南ビーチFMがそれぞれの特徴を活かした取り組みを実施することで、神奈川県内の海岸部、都市部と網羅的に清掃活動を実施した。今年は主に都市部のごみの状況を調査し、そのほとんどがポイ捨てによるものと判明した。まだまだなくならないその実態を打開していく必要があると感じた。出張授業も実施し、未来の海洋環境に取り組む人々に対する教育活動も実施した。

2023年度 実施状況について

その他事業：出張授業、イベント連携事業、商品開発

FMヨコハマ ～飲食店応援団！ Fヨコ SAVE&EAT～

テレビ
神奈川で取
り上げ



- 概要** 環境問題解決に積極的な店舗をFMヨコハマがネットワーク化し、店舗を拠点に啓蒙を実施。
- 目的** 参加飲食店の意識を底上げし、さらに主体的な活動を促進させる。
- アピールポイント** 2021年のスタートから、参加店舗は2023年度で482店舗に拡大。環境に対する意識の高いコミュニティとなっている。
- 効果** 自主的な清掃活動に対して、オリジナルトング・軍手のプレゼントで、複数店舗が連携しての清掃活動などが行われ、地域の人々も巻き込み、楽しく取り組んでいる。

FMヨコハマ 新横浜・野毛、伊勢佐木町ごみ調査



- 概要** (株)ピリカのごみ分布調査システムを利用した、大学生ボランティアとのごみ調査を実施。
- 目的** 横浜市内のごみのホットスポットを分析、調査する事により、ごみの発生原因を特定する。
- アピールポイント** 自治体に調査の結果を報告し、今後の海洋ごみ問題を始め、環境問題解決に役立ていただくための素地を作った。現状の把握も出来た。
- 効果** 調査したホットスポットを解消するため、プロギングなど楽しいごみ拾い活動を提案し、市民が気軽に参加できる機会を創る事が出来た。

湘南ビーチFM 逗子・鎌倉 毎日ビーチクリーン



- 概要** 海の家や逗子ビーチクラブと連携、夏休みを中心に40日間毎日、ビーチクリーンを実施。
- 目的** 毎日実施することで、海洋ごみ問題を考えるきっかけを創出、実体験を通し学んでもらう。
- アピールポイント** 毎日同じ時間に開催することで、気軽に参加しやすい環境を創出した。
- 効果** 毎日行うビーチクリーンは、夏の風物詩となり、意識の高い海の家だけでなく、地元市民や海水浴客等を巻き込む展開となった。期間中2500人が参加。

海ごみゼロウィーク含む清掃活動



ごみ拾い参加人数 **3,760人以上** 箇所数 **106箇所** 他

アピールポイント 逗子映画祭、湘南ひらつか七夕まつり、ALOHA♡HULA等の大型イベントとも連携し、清掃活動を実施。逗子鎌倉の毎日清掃、出張授業では小中学校の子供たちとも連携し清掃活動を実施。SAVE&EAT参加店舗が地元で清掃活動を実施。8市連携海洋プラスチックごみ削減プロジェクトと連携し、地元市民参加の清掃活動を実施。

メディア露出



メディア露出本数 **TV:1本 ラジオ:310本以上(特番もあり)**

アピールポイント ・地元のテレビ神奈川にて、飲食店応援団の番組とコラボ実施。
・月～木ベルド「守ろう！私たちの綺麗な海」で「海にまつわる様々な情報を提供」
・月～金ベルド「飲食店応援団！FヨコSAVE&EAT」は10月まで。
・毎週金曜日「LOVE THE BEACH」ではビーチクリーン活動をはじめとするイベントのお知らせや、活動報告について放送。



2023年度の課題とこれからの展望

FMヨコハマ・湘南ビーチFMそれぞれが持つネットワークを生かし、高い意識をもって参加してくれる団体や店舗と連携してきた。徐々に一般参加者が増えてきているが、まだその数は多くはない。今後更に、各々が主体的な動きをすることができるように推進する必要がある。そのためには、ポイ捨てをしない、もっと環境を考える、ごみがそこにあれば拾うなど、環境を考えることは特別なことではなく毎日の生活の中にあることだと、啓発活動、教育活動等をすすめていく。

